



うまくいかない方法

私ごとで恐縮ですが、3年前勤務した学校で「ダイソン」のコードレス掃除機を初めて使用。その使いやすさとパワーに感動して、我が家でも購入。（これまでは高額で二の足を・・・）以来、我が家の掃除は私の仕事。

毎朝、居間、廊下、脱衣場、寝室等を出勤前に掃除するのがルーティン。

廊下には、ほとんどゴミがないように見えても、綿埃でいつも一杯になる。

なんとまあ汚い家で転がっているのかと思ってしまう。

それでも、3年前よりはきれいな家で生活しているのかなと、自己満足している毎日。

我が家で大活躍の「ダイソン」掃除機を発明したジェームズ・ダイソン氏によると

1号機が出来るまでの試作機は5千台

つまり、私は5千回失敗した 何度もあきらめそうになった

15台目の試作機ができたとき、3人目の子どもが生まれていた

2627台目で生活はカツカツ 3727台目で貯金は底をつき、妻が働いた
つらい時期だった・・・

しかし、どの失敗からも学びがあったからこそ、解決案が見付かった

だから失敗をすることに何の抵抗もない

5千台の試作機のお陰で、我が家の掃除ができる。ダイソン氏の努力に感謝したい

同様のことを発明王エジソンは次のように述べている。

失敗ではない。うまくいかない方法を1万通り発見しただけ

エジソンは、生涯で1093件の特許を得ている。

が、その前に1万通りのうまくいかない方法を見付けている。

二人に共通すること。それは失敗から学んでいること。そして、あきらめないこと。

さて、近頃の子どもたちを見ていると、極端に失敗を恐れているように見える時がある。

周りの大人も失敗をさせないように、あらかじめお膳立てすることが多い？

失敗から学ぶことも多いのでは？ Trial&Errorこそ大事なのでは？

「失敗」を「うまくいかない方法の発見」と切り替えるしなやかな強さが必要では？

人生はうまくいかないこともある。（うまくいかないことの方が多い？）

夢は叶うとは限らないけど、夢に向かって走っている人にしかチャンスはやってこない。

転んだら起きればいい、若いときこそ失敗を恐れず走ってほしい。

とまあ、こんなことを今朝のルーティン中に考えました。皆さんはどう考えますか？